



2026年1月16日

株式会社商船三井さんふらわあ

大洗港にて船底清掃ロボットによる実演テストを実施
～GX・燃費改善・CO2排出削減への取り組みを加速～

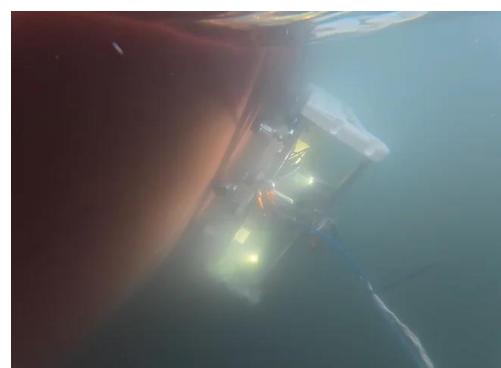
株式会社 FullDepth(社長:吉賀 智司、本社:茨城県つくば市、以下「フルデプス社」)と 株式会社商船三井さんふらわあ(社長:牛奥博俊、本社:東京都千代田区、以下「当社」)は、1月13日(火) 茨城県大洗港にて、当社が保有・運航するフェリー「さんふらわあ ぴりか」で、フルデプス社が自社開発した船底清掃ロボットによる実演テストを実施・公開致しました。



本ロボットは、1時間で 500m²の洗浄が可能というスペックを備えており、船底付着物を短時間で除去することで船舶の燃費を大幅に改善し、海運業界の CO2排出削減・脱炭素化に貢献することを目的に開発が進められています。



船底を清掃するロボット



水中の船底を走行するロボット

フルデプス社は、この清掃ロボットのスペックの実証、今後の実用化に向けて取り組みを引き続き行っています。さらに、清掃効果を科学的に検証するため、船舶の運航性能モニタリングの世界的リーディングカンパニーである NAPA 社（本社：フィンランド）との連携による燃費削減効果の検証も開始を予定されており、当社もこれらの取り組みに協力してまいります。

商船三井グループは、2050 年までにネットゼロ・エミッションを達成することを目指しており、「[商船三井グループ 環境ビジョン 2.2](#)」に沿って、今後も脱炭素・低炭素化実現に向けた新たな技術の導入を推進していきます。内航フェリー事業における環境対応をリードし、積極的に取り組んでいく方針です。

■株式会社 FullDepth について

フルデプス社は、2014 年に設立された筑波大学発のスタートアップ企業です。

深海探査向けに確立した高度な水中ドローン技術を基盤に、インフラ点検や水難救助などの過酷な現場で活用できるプロダクトへと進化させ、水中ロボティクス技術の社会実装を推進しています。
URL: <https://fulldepth.co.jp/>

商船三井グループが設定した 5 つの [サステナビリティ課題](#)

商船三井グループでは、グループビジョンの実現を通じて社会と共に持続的な発展を目指すための重要課題として「サステナビリティ課題（マテリアリティ）」を特定しています。本件は、5 つのサステナビリティ課題の中でも特に「Environment - 海洋・地球環境の保全-」、「Innovation - 海の技術を進化させるイノベーション-」にあたる取り組みです。

